

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2009.10.5

No.1928
No.11



出席率 | 会員54名中42名
先週の出席率 | 89.80%
先週の
メークアップ | 9/29 三条北RCへ
西巻克郎君 野島廣一郎君
田中悌司君 坪井正康君
10/3 米山奨学委員長松本ナ（柏崎）へ
荒澤威彦君



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
佐藤 嘉男

挨拶をさせていただきます。

昨年9月15日にリーマン・ブラザーズが64兆円の負債で倒産したリーマンショック。10月6日に東証が4年8ヵ月ぶりに、104,473円をつけ、世界同時不況が発生してから1年が経ちました。

米国の失業率は10%近くまで悪化し、米国経済に依存していた日本のメーカーが低迷する中、ウォール街が復活を果たそうとしています。

死亡債という死亡保険をもらう債権を発行するなど新しいマネーの動きが出て来ています。急激に勢いを復活している大型ヘッジファンドへの投資家の動きが金融機関にゼロ金利の公的資金投入により、金あまりが出て来て今年3月を境に株や商品相場が上昇し始めました。株は6,400ドルから9,000ドルに回復し、1バレル32ドルの原油が60ドル台になり、2,800ドルだった銅相場が5,000ドル台に値上がりしました。大型ヘッジファンドは最近不況で、投げ売りのビルを買い漁り、値上がりを待っています。その結果、公的資金投入の金融機関9社でボーナス100万ドル超の人が4,793人発生し、リーマンショックのようなマネーの暴走を2度と起こさないようにと、オバマ大統領が金融規正法案を出そうとしています。野村ホールディングスが、リーマンのアジア・太平洋部門、欧州・中東部門を買収し、複雑な金融工学を駆使し、収益を上げる投資銀行業務を行う人材とインフラを獲得、平成21年4月～6月期連続決算で見ますと6四半期ぶりの黒字になったものの、全体の人件費は前年度同月比で57%増の1,381億円に膨らんでいます。証券業務はひとが株の為、人材の流出を防ぐために、旧リーマン社員への高額な報酬の支払いが理由とみられます。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー [スコットランド]
第2560地区ガバナー 植木 康之 [柏崎]
第4分区AG 米山 忠俊 [三条北]
会 長 佐藤 嘉男
幹 事 荒澤 威彦
S A A 熊 倉 高 志

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

実態経済は株価の上昇とは無関係に、いまだ不況の真っただ中です。これは米国経済における消費低迷であり、アメリカの消費が変わったため、貯蔵率が2008年1%台が、2009年には5%台に上がり、借金やローンでの購入を控え、現金で支払いをするためだと言われています。

日本から米国への輸出額はリーマンショック以降5割減っています。世界経済の成長回復のエンジンとして期待されている中国。4~6月期のGDPは前年同月比7.9%増となり、政府目標の8%成長に迫っています。中国政府の4兆元(約54兆円)に上がる景気刺激策で、大型公共事業が各地で進んでいます。13億人の人口のある中国を新市場として各国は中国進出を計っているのか、中国政府が景気対策をいつまでも続けられるわけではないし、こうした状況で日本企業が市場経済の未熟な中国への依存度を高めすぎるのは危険と指摘するエコノミストは多いようです。

日米欧の先進国を襲った深刻な消費不振の中で、アジアは世界で唯一安定成長している巨大市場です。人口30億人のアジアの中で、年収45~315万円の人達がいる購買層 ポリウムゾーンに注目が集っています。このポリウムゾーンには8億8千万人の人口があり、日本の企業もいままでの高性能・高付加価値の商品を富裕層に販売することから量の出る中間層であるこのポリウムゾーンへの転換を狙い始めているのか、低価格路線を推し進める中国・韓国との争いとなり、価格競争に巻き込まれ、際限のない消耗戦を強いられています。

今年2月、ダイキン工業はライバル企業である中国の格力との提携を発表し、低価格でのエアコンの生産に乗り出しました。ダイキン工業は最先端技術のインバーター技術を格力に提供しなければならず、トヨタの子の自社技術をライバル会社へ提供という苦汁の判断でありました。

今後、日本の企業が、このアジアのポリウムゾーンを相手にする限り、国内生産では無理で、各国での生産が主力となり、本社・研究機関のみが日本に残りそうです。

昨年10月6日は1ドル104円24銭その後、円高に進み1月には88円44銭まで行きましたが、3月には97~98円に戻るものの、先週、藤井財務省の“緩やかな動きであれば為替市場に介入することは反対だし、できない”とか“為替は安定的であることが望ましい”との発言で、28日に89円の円高になり、輸出企業に大打撃となっています。



幹事報告

荒澤 威彦 幹事

植木ガバナー事務所より 10月ロータリーレートのご案内
10月1日より 現行 1ドル 94円 → 90円

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~10月5日 13,000円
今年度累計 177,000円~

佐藤(嘉)君 石川遼 あっばれ! 昨日のコカコーラ東海クラシック、18番でのラフからのスーパーショットにビックリ。今年すでに4勝、2年連続賞金1億円突破! 18歳のスーパースターです。

荒澤君 10/18は地区大会です。ご出席の皆様よろしくお願ひします。

佐藤(栄) 柏崎でのロータリー記念ゴルフコンペ、台風が接近しそうで心配です。初めてのコースなので楽しみにしております。

吉田君 昨日の満月は素晴らしかった。一昨夜の『中秋の月』も夜半は見られました。昨夜12時頃大粒の雨がぱらぱら降りましたが、今日はまた晴れました。

安達君、野中君 都合で早退させていただきます。

飯山君、大溪君、熊倉君、坂本君、銅冶君、渡邊(光)君

BOXに協力致します。

三野輪君 柏崎でのロータリーゴルフコンペ、ヘナチョコですが頑張ってきます。よろしくお願ひ致します。



□ ロータリーの友10月号をご紹介します。

10月は、職業奉仕月間と米山月間となっています。これらに関係した記事が多いように感じます。

- 1 横組みP1に、「職業奉仕を行動の真正面に」という見出しでRI会長メッセージが載っています。
- ① ロータリーの四大奉仕部門の中でも、とかく忘れられがちな職業奉仕を今年度、特別な強調事項においていただきたい
 - ② ロータリーの行動基盤は、倫理を伴ったものでなければならない
 - ③ 私たち一人ひとりの行動がロータリーの顔となる。行動が不都合なことであったとしても、正しい行動をして欲しい

- 2 真実かどうか？（横組みP6）
- 1932年、倒産寸前にあったシカゴの調理器会社の社長に任命されたハーバートJ. ティラーが、どのようにして不況を生き残り、より良い世界を築いたかということ「四つのテスト」の大切を交えて、物語風に記載されています。
- “四つのテストの教えを無視した事業は、世間から評価を受けることはない”

- 3 「誤った行動」（横組みP12）
- 元連邦検察官が公職の不正について述べています。

- 4 米山学友である台湾の林佳慧（カケイ）さんが「ロータリーから教わったこと」と題して特別寄稿しています。（横組みP17）
- 彼女は、現在台湾で障害児教育に携わっています。
- 米山奨学生のときに知ったロータリーの「四つのテスト」に親しみを感している。論語にも三つの反省がある。
- 一生懸念に頑張ったか？ 誠意をもって接したか？ 復習したか？
- 毎日、今日一日の仕事がどうだったかを自分に問いかけ、反省している・・・と綴っています。（米山関連記事が横組みP17～21に掲載）

- 5 石見銀山から学ぶ自然と人の共生（縦組みP2）
- 開発は、自然破壊につながると言われますが、破壊と再生を上手にシステム化すれば、人間が作り上げた棚田のような美しい日本の原風景が出来上がる。

21世紀は、環境についての重要な時代となります。一読をお勧め致します。

- 6 表紙の写真について
- 今年度の表紙のテーマが、「日本の祭、外国の祭」となっています。2006年8月から、表紙の写真がプロの写真家のものから、会員の応募により選ばれた写真が採用されています。
- 最初は応募者も多く、レベルの高い写真が応募されていましたが、2009年は半減、249点（92人）→125点（50人）。12月号と3月号の該当する写真がなく、再募集の記事が8月号に載っていました。
- 自信のある方、応募されては如何でしょうか・・・

*参考：写真を解説している岡井耀毅（テルオ）氏の略歴

広島県生まれ（76歳） 早稲田大学政経卒
朝日新聞社・週間朝日・アサヒカメラ編集長を経て56歳で退社
フリージャーナリスト 写真に関する評論・執筆をしている



「薬（ひこばえ）」とは「孫（ひこ）生え」の意、切り株やこの根元から出る若芽のこと次々と生まれる若芽のようにクラブの歴史がつけられ、刻まれてきました。その歴史の一編にふれるべく創立時の会報をお届け致します

ひこばえ
薬

History of
Sanjo
South RC



ROTARY
SANJO SOUTH

1969. 1.20
No. 33

本日の出席：会員 26名中 18名

先々週の出席率： 92.31%

今日のお花： 盛花 百合、つつじ、松、菊、ニューサイラン、ストック、カーネーション、金ポージョ
ヴィジター： 金子俊蔵君、渡辺惣吉君（三条RC）

ゲスト： 第355地区ガバナー 前原勝樹殿

先週のメイクアップ： なし

司会：金子会長

○本日前原ガバナー公式訪問に当り、雪害の最中にてハイヤーの派遣も出来ない最悪事態に大寒の深夜2Kの道程を宿舎 会六旅館迄、心良く御足労戴いたことについて、お詫びと感謝の意を会員一同に代わって申し上げます。

○今週は食卓上に掲示された通り雑誌週間(1/19~1/25)に当たっているのでロータリー雑誌を特に熟読され実の有るものにしたい。

会務報告：田中幹事

○降雪等の為か逐次出席率の低下が見られて来たので、会員各自の自覚は勿論の事、出席委員会の方でも特段の善後策を期待したい。

ニコニコボックス ¥11,500— 本日参会者全員

会員全員 高野市長再選の為全員献金す
金子六郎君 三条信用金庫が東北随一の金庫として今回預金量も150億を突破し、日銀との直接取引が可能になった為

馬場信彦君、川瀬庄衛君
降雪の為スキーの販売と製造にタッチされている両君に多額の献金をしてもらった

加藤文次郎君、田中正佐久君
両君、酉年生まれの為

委員会報告 社会奉仕委員長 相場謙造君

交通モニターの件について、人員の割振りと報告要領についての説明有り、続いて第1回(1月の係)のモニターの報告が石川委員から、雪中の市内で足でまとめられた貴重な資料の報告有り、関係当局に善処を要請する。

前原ガバナーに会員紹介！

全会員一人ずつ出てガバナーと固い握手を交わした。

第355地区ガバナー 前原勝樹氏(桐生RC)

越後の様な雪国特有な閉鎖的な自然風土を持つ地方こそRCの存在すべき必要性があると前置きして、次の様に語られた。

○東ヶ崎氏を国際RCの会長へ迎え

本年は且って11年前に、この355地区のガバナーとして活躍された東ヶ崎潔氏が日本人として初めて栄光

ある国際RC会長に推挙された年であって我々は全国283地区の何れよりも大いなる名誉を与えられたのであるから会長の「参加し敢行しよう」をスローガンとして大いにロータリー活動に専念してほしい。即ち、我々は船に例えれば乗客ではなく、乗組員であることを銘記すべきである。

○RC誕生の由来

RCの生みの親であるポールハリスは弁護士としては極めて繁昌しておったが、本人はその割には、極めて孤独であった。それは弁護士という職業上から来る対人関係に有ることを痛感し、何とか人間同士が、ライバル意識を披露し、心や、警戒心をなくして相互信頼の上に安心して、自分の弱点おきなくホラが吹ける様なヒューマンリレーションが必要ではないかと考え、その当時アメリカに於いては社交と商売とは自ずから分かれていたので、職業の異なるもの、有志のクラブによる親睦が先決と考え1906年お互い平等の立場で、例会場もなく発足したのがRCのそもそもの初めである。

ポールハリスはエマーソンの「少年の心を持ち続けた人が人生の成功者である」という全言を座右の銘とした如く、童心、神様、いづれも人間本然の姿として、親睦こそはRCの基であり、また出席なくして親睦もまた有り得ないのである。

○ロータリー活動とは

RCは世間では寄附団体の様な誤解を受けているが、奉仕の団体であり、然し会員自身がすべて直接奉仕にタッチしなくとも、奉仕が出来る様な人間を育成することである。ロータリーの奉仕は「徳は孤ならず」で必ず多くの共鳴者を誘発させる所にその意義の重大さがある。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

※例会終了後三階ホールでガバナーを囲んで一同記念撮影を行い、引き続きPM2hより5h迄委員長の報告に基づいてクラブ協議会を行ったが、前原ガバナーの孔孟の学とロータリアンとしての豊富な実践力を惜しみなく、またユーモラスに披露された御指導に対して、限りない感謝の意を表しつつ、一同感銘を新たにしつつ、ニコニコボックスへ献金した。

この辺でちょっと一休み

江戸山唄

耳うち

耳の遠いご隠居さんのところへ小僧がまいりまして「朝ごはんの仕度ができました」

聞こえないようなので大きな声で「朝ごはんの仕度ができましたッ！」それでも通じませんので隠居の耳に口をあてて「朝ごはんの仕度ができました」

ご隠居さん、むつと致しまして「そんなことなげ内証で言う」

(安永二、再成餅)

東京銀座元会員

・岡田晃雄著

「江戸小咄和英文柄」から



表紙について

テジャン＝
フランソワ・ミレー

(1814-1875)

「垣根に沿って草を食む羊」

1860年頃

*千葉県立美術館

ロータリーの友 1989年1月号表紙より

三條南ロータリークラブ週報

2009.10.5

No.1928 No.11